



令和4年10月11日

**第38回（2022年度）マツダ研究助成贈呈式のお知らせ  
広島大学から5件採択****情報提供**

公益財団法人マツダ財団が優れた研究に対して助成する「マツダ研究助成」の贈呈式が、10月14日（金）、本学東広島キャンパスにて行われますのでお知らせいたします。

**記**

【日 時】 令和4年10月14日（金）14時00分～14時20分

【場 所】 広島大学東広島キャンパス 工学部大会議室（C0棟2階）

【受賞者】

◎科学技術関係 研究助成

**«大学院先進理工系科学研究科 助教 樽谷 直紀»**

研究題目：イオン結合性ナノシートのヘテロ集積化による機能性材料の開発

研究概要：グラフェンなどの2次元材料はバルク材料とは異なる物性を発現する。本研究はイオン結合性が高い2次元材料の金属水酸化物塩に注目した。2種類の微小なナノシートを集積した際の異種界面構造が材料機能に及ぼす影響を調査する。

助成金額：100万円

**«大学院先進理工系科学研究科 准教授 田中 亮»**

研究題目：共役ジエンポリマーの強化と再利用を可能にする官能基化手法の開発

研究概要：本研究では、共役ジエンポリマーの側鎖に可逆的な架橋に利用できる官能基を導入し、熱的な処理のみで繰り返し再利用可能なゴム材料を開発する。また、官能基の導入位置の制御や、一部の官能基を変換することで、破断強度や破断伸びなどの物性の改善も目指す。

助成金額：100万円

**«大学院先進理工系科学研究科 助教 LEE JI HA»**

研究題目：超分子相互作用の制御を介して分解性を向上させたプラスチックに代替可能なゲル材料の開発

研究概要：本研究では、ネットワーク構造の形成が容易なカリックス[4]アレーンを用い、外部刺激を付与することでゲルの機械的強度を飛躍的に向上し、超分子相互作用を制御によって分解性を有するゲル材料の開発を遂行する。

助成金額：100万円

「ナノデバイス研究所 教授 後藤 秀樹」

研究題目：光非線形効果を用いた光子統計制御によるオンデマンド単一光子・もつれ光子発生デバイスの研究

研究概要：量子情報や量子インターネットが世界中で注目されている。このインターネットの構築には、量子的な光源が要求される。研究では、この要求を満たすオンデマンド単一光子源ともつれ光子源を実現し、量子を使った新しい社会インフラ実現に貢献する。

助成金額：100万円

◎青少年健全教育関係 研究助成

「大学院人間社会科学研究科 准教授 小口 悠紀子」

研究題目：豪雨災害時に外国籍住民を情報弱者にしないための市民参加型防災学習実践～LEGOを用いた対話活動と共助力向上に着目して～

研究概要：平成30年7月西日本豪雨時の外国籍住民の避難行動をもとに、従来の知識伝授型の防災教育の不足点を指摘し、日本語教育や多文化共生のまちづくりという観点から「リスク・コミュニケーション」の創出を目指す新しい防災学習を提案・実践する。

助成金額：80万円

【出席者】公益財団法人マツダ財団

理事長	菅蒲田 清孝 氏
常務理事・事務局長	山内 真 氏
事務局	加藤 貴史 氏
事務局	六鹿 彰吾 氏

広島大学

○受賞者（助成金申請者順）

大学院先進理工系科学研究科	助 教	樽谷 直紀
〃	准教授	田中 亮
〃	助 教	LEE JI HA
ナノデバイス研究所	教 授	後藤 秀樹
大学院人間社会科学研究科	准教授	小口 悠紀子

○陪席者

大学院先進理工系科学研究科長	高田 十志和
〃 副研究科長	鈴木 孝至
〃 〃	菅田 淳
ナノデバイス研究所長	寺本 章伸
大学院先進理工系科学研究科	教 授 大下 浄治

【お問い合わせ先】

公益財団法人マツダ財団 担当：六鹿 彰吾  
TEL：082-565-0461 FAX：082-285-4612  
E-mail：mzaidan.kk@mazda.co.jp  
発信枚数：A 4 / 2 枚（本票含む）